

第二学年 国語科学習指導案

日時 令和五年 十月二十三日（月）
場所 岐阜市立岐阜中央中学校 二年二組教室（南舎3F）
学級 二年二組（三十二名）
授業者 北原 章大

一、単元名

「君は「最後の晚餐」を知っているか 自分アナライズ」「かっこいい」を解き明かす」

二、単元及び教材について

我々は生活の様々な場面で、物事を選択・判断している。その際の基準になるのが、自分のもの見方、考え方である。自分では間違いないと思っていることが、他の人と比較した時、必ずしもそうでない場合がある。そういった見方、考え方の相違は、物事の多様性を理解する一つの指針であると同時に、自分がどのような人物であるかを考えるための、重要な要素でもある。

本教材「君は最後の晚餐を知っているか」では、レオナルド・ダ・ヴィンチの名画「最後の晚餐」を筆者は「かっこいい」と評している。また、その理由を説明するために、「解剖学」「遠近法」「明暗法」といった医学や建築に用いられる手法を取り上げ、それらを「絵画の科学」と称して論理的に説明している。このように説明的文章や絵画の批評において、あまり使われない表現を用いることや、絵画を緻密な視点で詳細に分析し、説明する点に、筆者の着眼点の鋭さが表れている文章である。

三、生徒の実態

生徒はこれまでの説明的文章の学習を通して、自分の言葉で課題に対する結論を書くことができるようになってきた。また、その結論に到達した理由を文章化することや、根拠を明確にすることについても習熟を進めている。しかし、自分なりの言葉であっても、必要な要素が必要な文章量で書いたり、自分の考えの裏付けとなる根拠を適切に結びつけたりすることには、弱さが見られる。

また、論理の展開を「説明的文章は難しい」「考えを書くのは難しい」と思っている生徒が、「自分はこう考えたんだけど、それはなぜかと言うと…」と自分なりの言語能力や既有知識を駆使して学習に臨めるよう、「文章を読んで自分の考えをつくるのは楽しい。」と思えるような、主体的な姿を生み出していきたい。

四、「生きてはたらく言語能力」の育成について

（１）学習指導要領解説から

本単元での「生きてはたらく言語能力」を、次のように捉えた。

文章の内容を精査解釈することで、「かっこいい」という言葉の意味について、根拠を明確にして自分なりに考えを形成し、それを仲間と比較、関連し合うことで、深めたり広げたりする力

この力の実現のために、「学習指導要領解説国語編 C読むこと」に示された以下の指導事項について、重点的に指導していくこととする。

イ 目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得たり、登場人物の言動の意味などについて考えたりして、内容を解釈すること（精査・解釈）

オ 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすること。（考えの形成）

(2) 研究とのかかわり 読むこと部会研究テーマより

【令和五年度 中国研「読むこと部会」研究主題】

文章を主体的に読み深め、自分の考えを広げ深める生徒の育成

～自分の考えを形成する学習過程と、

高まりを実感する評価に重点を置いた「読むこと」の指導の工夫～

【研究内容 1-②学ぶ魅力・必然性のある単元開発】

本単元では、筆者の「物事を分析的に見る」というものの見方、考え方を適切に理解するとともに、それを参考にしながら自分が「かつこいい」をどのように捉えているかを分析することで、自分の見方、考え方を明らかにする言語活動を設定した。自分のものの見方、考え方を明らかにするためには、自分が「かつこいい」というものを挙げ、それを「かつこいい」と感じた理由やそれらの共通点を分析する必要がある。多様な思考を促すとともに、根拠を明確にした論理的な思考活動が求められる点で、考えを深め広げる点において最適な言語活動であると考えた。

また、新単元構想表を用いて単元を表すことによって、学習活動や評価基準などを整理することができ、指導と評価の一体化を実現できると考えた。

【研究内容 2-①生徒が「主体的・対話的で深い学び」を獲得するための指導の工夫】

本単元では、考えを深めたり広げたりするために、協働的な学習活動を取り入れることとした。精査解釈の授業では、個人追究でまとめた自分の意見について全体で交流したのち、それまでの交流を踏まえて深めの発問を行うこととした。これは交流の中で広がった思考を課題に集約したり、より深めたりするための発問である。この発問について協働的に考えることで、課題に対する考えをたしかなものにできると考えた。

また、考えの形成の授業では、個人追究で形成した考えを協働的に交流し、様々な見方、考え方と比較できるようにした。その後、協働的な交流によって自分の考えがどのように深まったり広がったりしているかを共通理解するための全体交流を設定した。これによって、仲間がどのように考えを再構築しようとしているかを共有することができ、自らの学びを調整することができる指導計画になっていると考えた。

【研究内容 3-①単元目標達成までの見通しと具体的な個人目標の設定を行う導入の在り方の工夫】

②単元で身に付けた力を実感する終末の在り方の工夫】

本単元では、単元の導入で設定する個人目標の達成に力をいれることとする。導入では、言語活動や単元目標とともに、前回の同一領域における自分の課題と照らし合わせ、それを改善するための個人目標を設定することとした。また、毎時間の振り返りにおいて、「①結論をまとめる力②理由を文章化する力③根拠を明確にする力④考えを説明する力⑤他の考えと比較する力」といった学習に向かう力とともに「⑥個人目標達成度」を加え、六観点で自己評価することとした。それをチャート化することで、自分の学習状況が視覚的に捉えやすくなり、学習の調整を行いながら単元をすすめていけると考えた。

また、生徒が立てた個人目標を教師と共有することによって、生徒がどのような目標や困り感をもっているかを把握して指導に当たることにより、個別最適な指導が実現できると考えた。

最後に、個人目標の達成度を踏まえ、自分の身に付けた力をチャート化するとともに、その理由を具体的に記述する活動を設定した。これによって、自分が本単元で身に付けた力や、課題を実感し、次の学習の個人目標につなげていくことができ、学習の調整が螺旋的に行えるようになると考えた。

六、単元指導計画（全6時間）

【単元のねらい】

- ・筆者が「最後の晩餐」を「かっこいい」と評した理由を、筆者の着眼点や論理の工夫を根拠に精査解釈することで、筆者が「物事を分析的に見る」というものの見方、考え方をもっていることを読み取ることができる。
- ・筆者のものの見方、考え方を根拠として、**自分にとっての「かっこいい」を定義する」という活動を通して**、自分の知識や経験とつなげて考えを形成することができる。

【単元の評価規準】

- ・筆者が「最後の晩餐」を「かっこいい」と評した理由について、着眼点や論理の展開を根拠として、適切に読み取っている。
- ・精査解釈を踏まえて、筆者のものの見方、考え方について適切に捉え、それに対する自分の考えを、根拠を明確にして形成している。

| 時 | ねらい（○中心となる主発問） | ◎評価規準（評価方法） |
|---------|--|---|
| 1 | <p>【導入】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語活動、単元目標、単元の流れを知り、自分の課題に応じた個人目標を設定する。 ○単元の計画を立てよう。 | <p>◎言語活動と単元目標を理解し、自分の課題に応じた個人目標を設定している。</p> <p>【主体的に学ぶ態度】 (計画プリント)</p> |
| 2 | <p>【内容理解①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句、展開をまとめることで、文章の概要について理解する。 ○重要語句に着目して、文章の概要を把握しよう。 | <p>◎重要語句について文章中から適切に抜き出し、簡潔にまとめている。</p> <p>【思・判・表 ア】 (ワークシート)</p> |
| 3 | <p>【内容理解②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「最後の晩餐」と「ダ・ヴィンチ」やその作品について知る。 ○「最後の晩餐」と「ダ・ヴィンチ」について知ろう。 | <p>◎「最後の晩餐」や「ダ・ヴィンチ」の作品についての説明を聞き、文章の理解に生かそうとしている。</p> <p>【主体的に学ぶ態度】 (ワークシート)</p> |
| 4 | <p>【精査解釈①】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者が「最後の晩餐」を説明するために「絵画の科学」に着目したことや、それを説明するための展開の工夫をつかむ。 ○布施さんは「最後の晩餐」のどこに着目したのか。 | <p>◎「解剖学」「遠近法」「明暗法」といった「絵画の科学」についての説明を適切に理解し、それを説明するための展開の工夫について考えている。</p> <p>【思・判・表 エ】 (ワークシート、発言)</p> |
| 5 | <p>【精査解釈②】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の着眼点や論理の展開の工夫を根拠敏、筆者のものの見方、考え方をつかむ。 ○布施さんはなぜ「最後の晩餐」を「かっこいい」と評したのか。 | <p>◎精査解釈した内容を関連させて、筆者が「かっこいい」と評した理由について考えている。</p> <p>【思・判・表 イ】 (ワークシート、発言)</p> |
| 6 本時 | <p>【考えの形成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者のものの見方、考え方を踏まえて、自分の考えを形成する。 ○自分が考える「かっこいい」とはどんなものだろうか。 | <p>◎精査解釈で明らかにした筆者の物の見方、考え方を基にして、自分の考えを形成し、説明している。</p> <p>【思・判・表 オ】 (ワークシート、発言)</p> |

六、本時のねらい

筆者のものの見方、考え方を踏まえ、精査解釈した内容や自分の見方、考え方を比較、関連させながら、自分の考えを形成することができる。

七、本時の展開(6/6)

| 場面 | 生徒の思考の流れ | 学習活動 | 指導・援助【評価基準】 |
|--------|--|---|--|
| 見通す | <p>「最後の晚餐」をかつこいいと評した理由は分かった。では、自分はどんなものの見方、考え方をもっているんだろう。筆者のものの見方、考え方を参考にすれば、自分の「かつこいい」がわかるはずだ。</p> | <p>①前時の内容を振り返る。 ・「最後の晚餐」とはどのような絵画だったか。 ・布施さんが「最後の晚餐」を「かつこいい」と評したのは、どんな理由からか。 ・布施さんのものの見方、考え方をどのように捉えたか。 ②単元における本時の位置を確認し、課題を共有する。 布施さんのものの見方、考え方を踏まえて、自分のもの「こいい」を明らかにしよう。</p> | <p>①では、精査解釈で学習した内容や、内容理解でまとめた内容についてペアで話すことで、理解を確かめることができるようにする。 ③では、予め把握している個人目標と、ワークシートの書き込みの状況を基にして、「文章量を増やす」「根拠を明確にする」、教科書のどの部分に着目する、等の観点で指導・援助を行う。</p> |
| 見つける | <p>筆者のものの見方、考え方は自分なりに解釈することができた。それを踏まえて自分の場合に当てはめてみよう。自分がかつこいと思うものはガンダムやB.N.、スポーツカーなどだ。これらの共通点や、それをかつこいと感じる理由について詳しく分析してみよう。</p> | <p>③課題に対して個人追究をする。 ・筆者のものの見方、考え方を明らかにする。 ・「人」「もの」「こと」などの観点で「かつこい」と思うものを挙げ、それを根拠として自分のものの見方、考え方を明らかにする。</p> <p>【筆者の考え】</p> <p>筆者の布施さんは「細かく計算されたものがかつこい」という見方、考え方をもっていると考えた。何故かと言うと、「最後の晚餐」に使われている「絵画の科学」は、レオナルド・ダ・ヴィンチが細かく計算してつくったものだし、それ説明するときに、だんだんと読者の視点を広げていったり、順番を考えていたりするからだ。</p> <p>【事例①】「ガンダム」</p> <p>・いわゆる「スーパーロボット」ではなく、「リアルさ」を追求した設定がある。 ・物語の中心は「話が終わる」という「敵を倒せば話が終わる」というものではない難しさがあふれている。 ・主人公は「お上」を巻き込まれてしまった民間人であり、少年少女が活躍しながら成長していく物語になっている。 ・「ガンダム」が「ガンダム」であることが、時代に応じた作品である。 ・「ガンダム」が「ガンダム」であることが、時代に応じた作品である。 ・「ガンダム」が「ガンダム」であることが、時代に応じた作品である。</p> <p>【事例②】「Bz」</p> <p>・1988年のデビューから常に進化を続けているロックミュージシャン。 ・「これまでにないロックグループを作りたい」と考えたギターの松本孝弘がボーカルの稲葉浩志に声を掛け、結成された。 ・稲葉浩志は「かつこい」と感じる曲を「Bz」の楽曲に選んでいく。 ・稲葉浩志は「かつこい」と感じる曲を「Bz」の楽曲に選んでいく。 ・稲葉浩志は「かつこい」と感じる曲を「Bz」の楽曲に選んでいく。</p> | <p>③では、 a 「筆者のものの見方、考え方を明らかにすることができない」 b 「自分がかつこいと思う要素から要素を選択できない」 c 「かつこいと思う要素からものの見方、考え方をつなげられない」</p> <p>という三つの困り感を想定し、それぞれに対して</p> <p>a 「最後の晚餐はどんな絵か」 b 「各要素で思いつくものは」 c 「理由や共通点は何か」という援助を行う。</p> <p>④では、提出箱を共有することで誰がどんな考えを形成したかを一覧にして示し、意図的な交流ができるようになる。</p> <p>⑤では、自分が納得したことや、逆に悩みが生じたことなどを交流することで、自分と仲間を比較し、学習の調整ができるようになる。</p> <p>⑥では、再度筆者のものの見方、考え方に着目させることで、自分の考えの根拠を見直し、考えを再構築できるようにする。</p> |
| 深め、広げる | <p>みんなそれぞれの「かつこい」をもっていて、多様性に驚かされる。ものの見方、考え方を聞くと、それに当てはまるものが想像しやすい。逆に仲間自分の「かつこい」に合致するものを見つけてもらうと、とても嬉しいな。</p> | <p>④個人追究で形成した考えを交流する。 ・ワークシートをロイノートに提出し、他者の考えをつかんだ状態で交流する。 ・自分の考えとの共通点、相違点を明らかにする。 ⑤全体で交流し、学習の状況を共有する。 ・筆者のものの見方、考え方に対する自分の捉えと、それを踏まえて考えた自分のものの見方、考え方の理由について。 ・自分と仲間の考えの共通点と相違点について。 ⑥自分の考えを再構築する。 「かつこい」の定義とは何か。 ・筆者や自分、仲間の捉えを比較し直し、言葉の意味を確かなものにする。自分で、自分の考えを再構築する。</p> | <p>④では、提出箱を共有することで誰がどんな考えを形成したかを一覧にして示し、意図的な交流ができるようになる。</p> <p>⑤では、自分が納得したことや、逆に悩みが生じたことなどを交流することで、自分と仲間を比較し、学習の調整ができるようになる。</p> <p>⑥では、再度筆者のものの見方、考え方に着目させることで、自分の考えの根拠を見直し、考えを再構築できるようにする。</p> |
| 確かめる | <p>自分のものの見方、考え方は明らかになる。自分が「かつこい」だと思った理由、それが定義かと言われるとどうだろうか。「かつこい」には様々な考え方があっても、共通点は何かだろうか。</p> | <p>⑧本時の学習について振り返る。 ・ワークシートの振り返りにチャートを記入する。</p> | <p>【評価基準】（発言・ノート） ・筆者のものの見方、考え方について、自分なりの言葉で考えを形成している。</p> |

自分は布施さんのものの見方、考え方を「細かく計算されたものがかつこい」と捉えた。また、他の人の「かつこい」を聞く、自分とは違う見方や考え方がたくさんあることがわかった。しかし布施さんのものの見方、考え方をもう一度考えたり、仲間の考えとの共通点を考える中で、「それ自体に憧れを抱いたり、より知りたいと思えるような技術があったりするものがかつこい」という点で、共通している部分があるのではないかと考えることができた。

今日の学習の達成度はどうだろうか。個人目標の高まりとその理由を明らかにしよう。